

城西大学

Active

図書館ができること

本学図書館は、学習支援により力を入れた図書館を目指してきました。何事も始めてみなければ分からない…そんな思いから、常に新しいことに挑戦してきました。結果、学内全体の認知度が高まり、教員や



# 水田記念図書館



# Library

## いろいろやってみた

他部署の職員からも協力を得られるようになりました。当館の取り組みを紹介することで、「もう少しだけActiveにやってみよう」と思ってもらえたら、こんなにうれしいことはありません。

# 開館時間 🕒 日数

①

## 開館時間の延長・日数の増加

2007年9月に図書館が実施した全学対象アンケートでは、開館時間の延長を要望する声が高かった。その結果を受け、翌2008年4月より、平日の開館時間の延長、および日曜開館へと対応した。

● 2007年までの開館時間 ●

|     |            |
|-----|------------|
| 月～金 | 9:00～19:00 |
| 土   | 9:00～16:30 |



● 2008年4月からの開館時間 ●

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 月～金 | 9:00～ <b>21:00</b> |
| 土   | 9:00～ <b>19:00</b> |
| 日   | 9:00～ <b>17:00</b> |

②

## 早朝開館

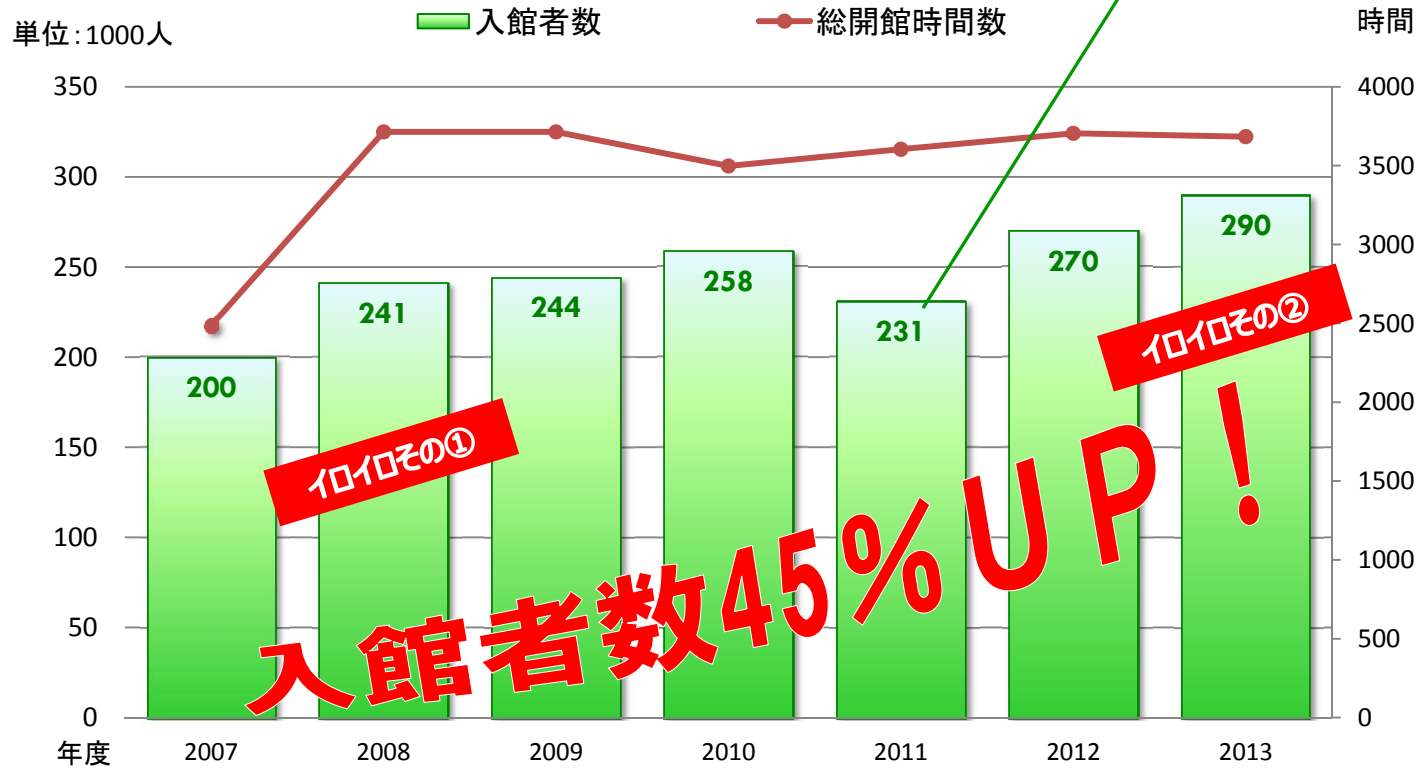
2013年より、学生の学習支援のため試験期間中は30分早い8:30開館を実施。

**Now!**

2013年度は332日開館。2014年度は祝日授業対応のため、さらに開館日増加。341日開館予定。

# ■ 入館者数の推移

2011年度 震災及び耐震工事



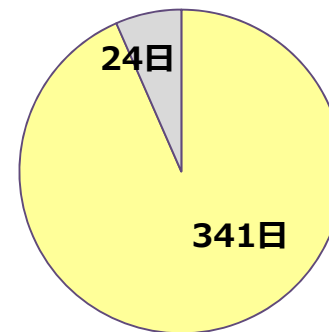
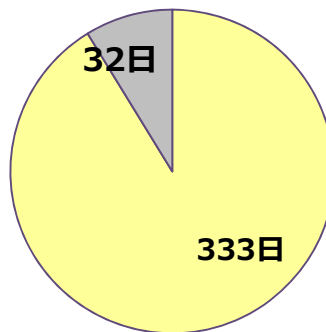
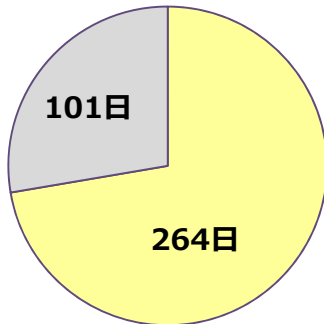
開館日数  
341日  
2007年度から  
77日増!

■ 2007年度 開館日数 ■

■ 2013年度 開館日数 ■

■ 2014年度 開館日数 ■

■ 開館日  
■ 閉館日





図書館員が教員の研究室を訪問し、リポジトリ登録促進、ガイダンス案内、図書館イベントPR, etc.  
→ 相互協力体制、信頼関係の構築  
⇒ 学習支援

教員推薦図書  
学長 森本 雅憲 先生 推薦

コラボレーション  
月別展示の教員協力

授業で就活関連上映会を開催

リポジトリ  
JUR A  
登録

研究室訪問  
2014~

推薦文付の図書紹介

BookMark  
2013年12月号

図書館報 BookMark  
巻頭言執筆を教員に依頼

# 教員参加

講習会は教員へ相談して日程検討  
広報の協力も

講演会  
講習会

ガイダンス

講演会は授業やFD研修の一環にも

学生アドバイザー

教員の推薦  
→ 図書館長委嘱  
2014年後期  
学部生・院生11名

2014 全国大会  
京都決戦12.14  
出場決定!

ビブリオバトル  
ゼミ推薦枠

Pick Up!



# Active

# Library

# 学生参加

学生選書



SALA OLWなど  
図書館活動にも参加



OLW : Open Library Weeks

学生アドバイザー



学生が学生を支援

学生が学生に  
相談できる制度  
論文やレポートの  
書き方のアドバイス  
文献の探し方やPCの使  
い方指導など

2014年度後期は  
11名



専用Twitter  
@lib\_advis

講演会



イベント

参加  
リピーターも

学園祭  
ビブリオバトル



アドバイザー主催

学生同士の  
新たな交流も

2011~



参戦者  
2013 : 23名  
2014 : 19名



ビブリオ等イベント  
運営にアドバイザーや



他の学生も協力

学生広報委員会に  
図書館広報を依頼



昼放送など

2014  
全国大会  
京都決戦12.14  
出場決定!

ビブリオバトル

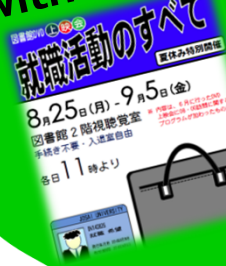


Pick Up!



# 2014

with 就職課



## 外部連携

就職課職員選書コーナーも設置



就職課共催



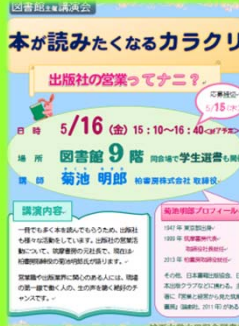
図書館所蔵の就職活動関連DVDを館内上映

複数日程を開催し、各回で就職課の方より学生への就活アドバイスや質疑応答



2013冬 (2回開催) 講師は出版社の現役編集者

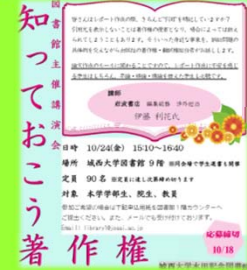
いずれの回も講演に合った図書で学生選書を同時開催



2014春 講師は出版社元社長 → 現取締役

目的は「学生の読書推進」

with 出版社 出版社の方々を講師として招き学生向けの講演会を開催



2014秋 講師は出版社の編集渉外担当者

論文剽窃など、著作権の問題を在学中に学生へ意識づけ 授業やFD研修の一環として取り上げられた

# Josai

## 地域連携

with  
『図書館と県民の  
つどい埼玉』



「大学図書館の  
お宝お見せします」  
に毎年出展

地域の方に  
大学を  
知ってもらう  
貴重な機会

提携図書館主催  
『図書館まつり』に出展



大学研究成果  
所蔵資料紹介

近隣公共  
図書館6館との  
相互協力提携  
地域へ生涯学習の  
場を提供

合同主催公開講座



図書館員の  
合同研修会



館長  
及び主務者  
の集い

with  
地域の方々

地域と共にある大学  
城西大学水田記念図書館



ライブラリー  
会員制度  
(地域の方への  
貸出サービス  
制度)

地域  
アドバイザー  
(2014秋～)

『「埼玉県エコタウン  
プロジェクト選定」  
自治体・大学・地元  
自治会協働事業』  
@東武東上線  
北坂戸駅前

with 北坂戸  
にぎわいサロン



図書館  
ポスター  
パンフレット  
案内





1010その③

## 広報の強化

2005年までは特定の教員が参加するのみだったが、2006年から全学部教員に文書を配布し、図書館報『BookMark』でも告知をおこなうようにした。

1010その④

## コースの設定

2011年からは学生の学部・学年・スキルに合わせ、【基本】【応用A・B】標準的な内容のコースを設定し、教員に提案する形とした。  
学生の状況や教員のニーズの変化に対応するため、毎年コースの内容を見直し、改定をおこなっている。

1010その⑤

## 教員の要望でカスタマイズ

「まずは本そのものに触れてほしい」という教員の要望に応え、基本編ではOPACに頼らず本を探すブラウジング体験を実施。また、「卒論の参考文献探しのため、論文・記事を中心に」「就職活動のため、企業研究の下調べを」「研究室に配属された学生に海外DBの基本検索を」など、教員のさまざまな要望に応えるべく、内容をカスタマイズしている。

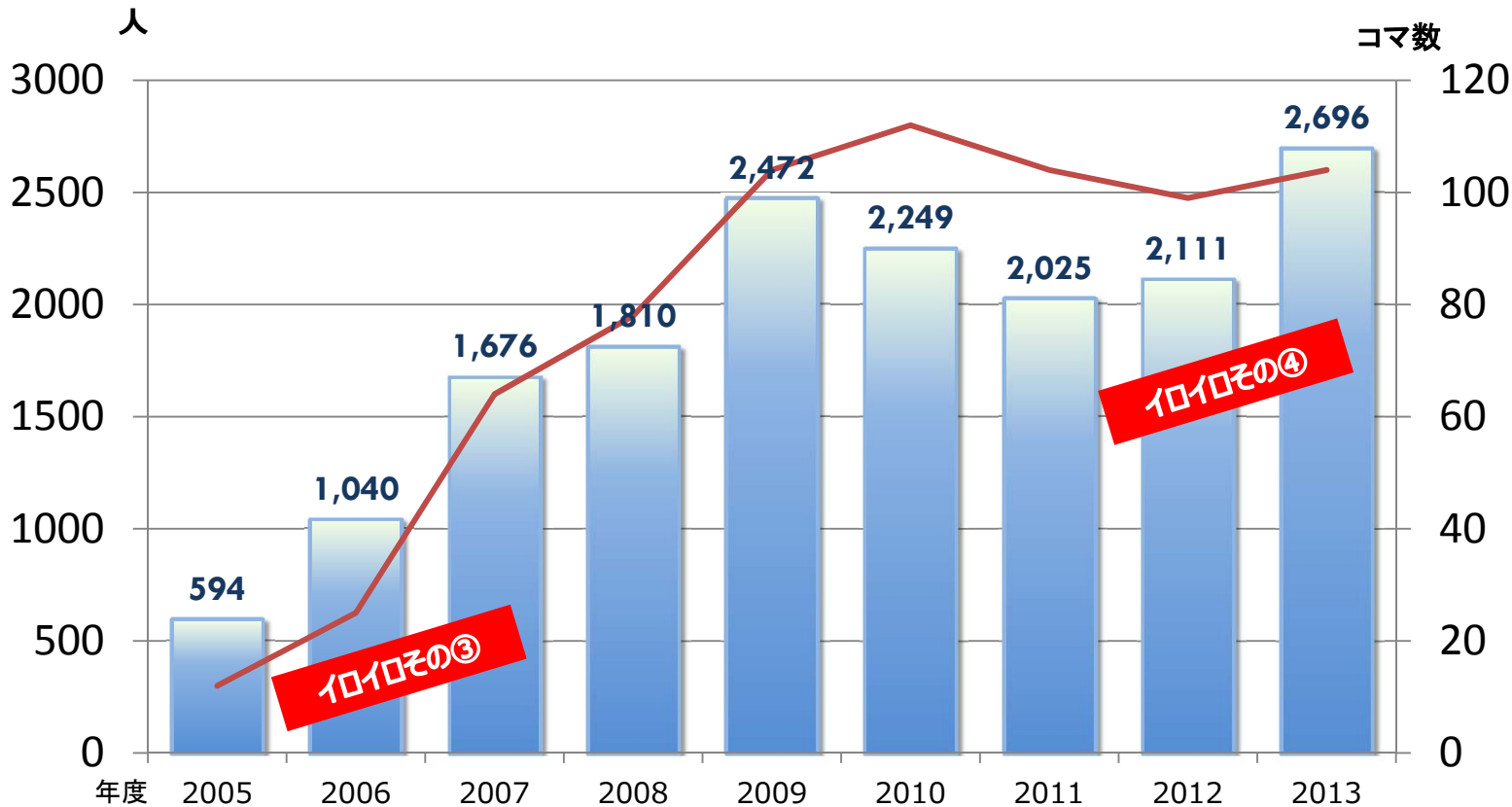


● <例> 1年次 図書館ガイダンス「基本編」内容 (2014) ●

**Now!**

依頼件数は2005年→2013年で4倍に増え、2013年のアンケートでは学生の受講満足度は99%に。また、今回のツアーを取り入れたガイダンスレポートが、図書館員のコメントとともに医療栄養学科のホームページに掲載された。

# ■ ガイダンス受付件数の推移



1010その⑤  
2014

受付件数  
4倍UP

学生の  
受講満足度  
99%

## ■ アンケートからの声①

請求記号が細かいなと思ったけれど、そのおかげで本が探しやすいのだと思いました。これからも図書館を利用したいと思います。

## ■ アンケートからの声②

大学図書館はとても広くて利用が不安でしたが、今回説明をしていただいて利用がわかったので、ありがたかったです。

## ■ アンケートからの声③

試験前など、必要な本を探せ、館内で学習もでき図書館は役立つと感じました。今後、レポート作成などの資料探しに図書館を活用しようと思います。



# ビブリオバトル

イロイロその⑥

## ビブリオバトル初開催

2011年6月、紀伊國屋書店主催のビブリオバトル大学生大会に初参加。参加締切まで日がなく、必死の呼びかけで学生1名の参加が決まった。また、発表者が所属するゼミ（憲法ゼミ）では、発表者がビブリオバトルで紹介した本『海と毒薬』を題材に、法的な解釈を加え意見を交わす授業がおこなわれた。同年10月、城西大学でビブリオバトル（全国大会への予選会）を初めて開催。この年は大会規定ぎりぎりの4名の参加者を集めるだけで精一杯だった。

イロイロその⑦

## 23名の参加 & 学園祭

2013年10月、学内広報誌に掲載されたことで認知度が上がり、教員の協力を得て23名がビブリオバトルに出場。1枠5名の4グループで予選会を開催し、4名が地区決戦へ出場。また、11月の学園祭では学生アドバイザーが主軸となって「ビブリオバトル学内チャンプ決定戦」を開催。一般の方も含めた100名以上の観客を集める大きなイベントとなった。

イロイロその⑧

## 教育的効果

教育的な効果を期待する教員の後押しや、ゼミでの事例として紀要（★1）や学内広報誌（★2）でも取り上げられたことで、ビブリオバトルは学内で徐々に認知度が高まっている。

★1 憲法ゼミで遠藤周作『海と毒薬』を読む/市川直子、『城西現代政策研究』5（1）、33-41、2012

★2 学びに生きる、熱き挑戦「ビブリオバトル2010～2012年」/『城西：地域と大学を結ぶ広報誌』2013. 6

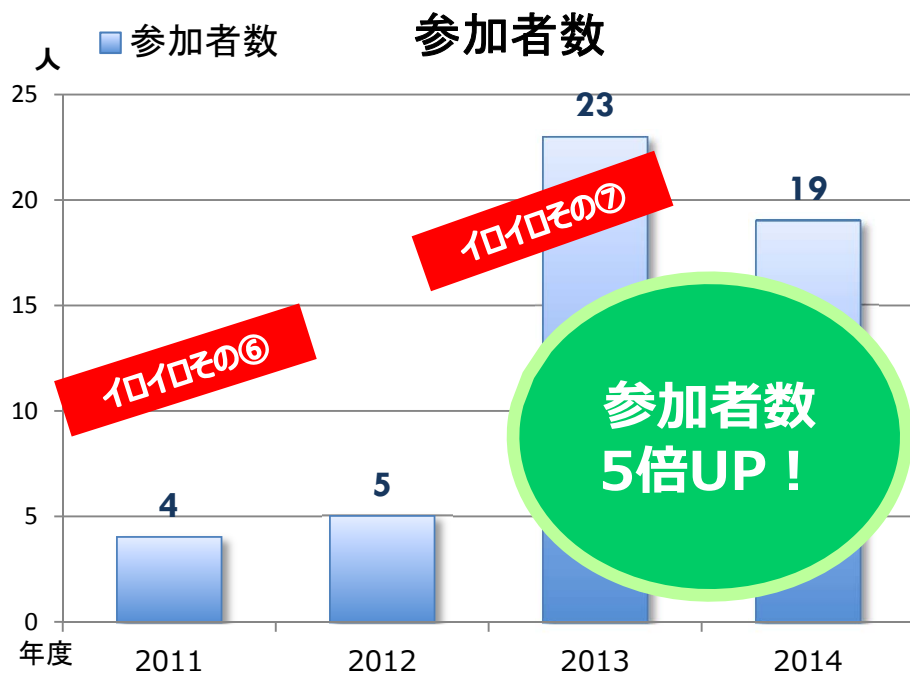
**Now!**

今年2014年のビブリオバトルにも19名の学生がビブリオバトル（予選会）に参加、4名が地区決戦へと出場し、ついに地区決戦を突破、京都決戦への切符を手にした。

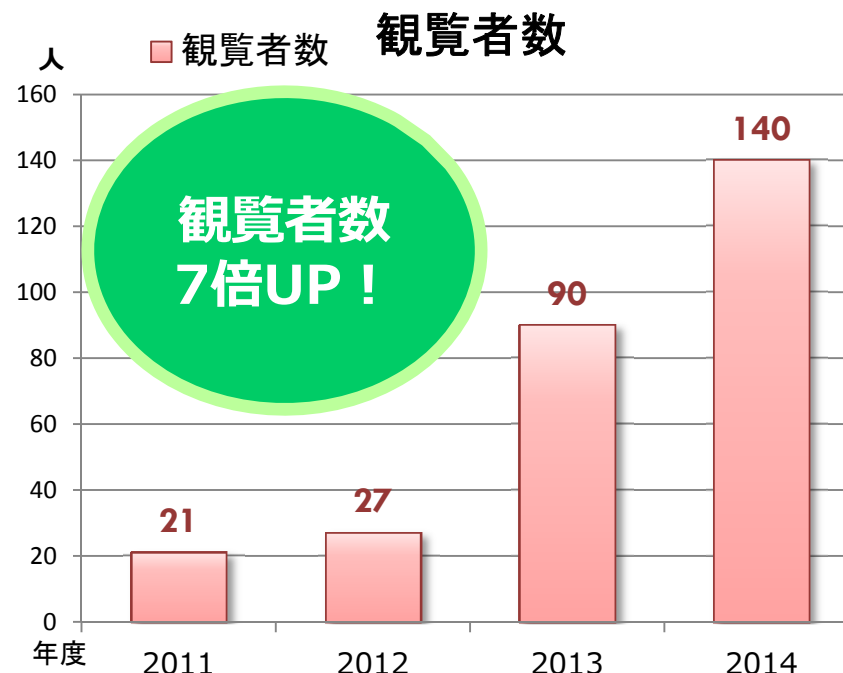
ビブリオバトルとは

1. お気に入りの本を持って集まる
2. 順番に1人5分で本の紹介をする
3. いちばん読みたくなった本に投票しチャンプ本を決定

# 参加者数の推移



# 観覧者数の推移



## 1010その③

### ■発表者からの声

ゼミの先生に勧められてビブリオバトルに参加しました。今回のことがきっかけで、本を読むこと、読み通すことの楽しさを改めて発見しました。また、多くの人の発表を見ることで、こんなプレゼンの仕方もあるんだ！と刺激を受け、本当に勉強になりました。（京都決戦出場 鈴木くん）

### ■先生からの声①

ゼミでは「共助社会」をテーマにチームで研究を進めているため、コーディネート力、コミュニケーション能力が必要とされ、ビブリオバトルに挑戦することによって培われる、本を読み解く力、興味深く伝える力は、その後大きく影響している。（Y先生）

### ■先生からの声②

首都決戦地区予選会の対策についてゼミで議論を交わし、プレゼンテーションの技法やパフォーマンスについて意見を出し合った。読書力の育成への第一歩として、授業時間以外の学習習慣をつける契機として、初年時教育に大きな効果があると思われる。（N先生）

